



新年度がスタートしたと思ったら、新型コロナウイルスの影響で休校が続き、アッ！という間に「夏休み」がすぐそこだ。夏休み前には**1人10冊まで貸し出す**ので、たくさん本を読んでね！

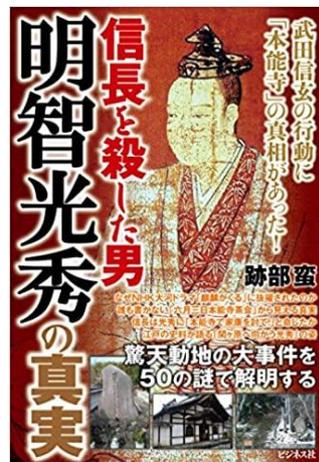
戦国武将の妻たちの座り方！！ えっ？！まさか……。

2020年NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公は、戦国時代の武将「明智光秀」です。明智光秀といえば『本能寺の変』で「織田信長を殺した男」として有名ですよ。この「麒麟がくる」のドラマの中で川口春奈さんが演じているのが、織田信長の正妻「帰蝶」です。策略や裏工作など悪女の面がある役で沢尻エリカさんの方が良かったのでは？！それはさておいて、「帰蝶」の座り方に違和感を覚えたり、驚いている人はいませんか。そこで問題。戦国時代の武家の女性たちの座り方は、次のうちどれでしょう？

- ① 正座 ② 胡坐（あぐら） ③ 体育座り ④ 立て膝

正解は「④ 立て膝」です。当時の戦国武将の妻などの絵画を見るとほとんどが片膝を床に着き片膝を立てているんですね。『考証要集—秘伝！NHK時代考証史料』（大森洋平著

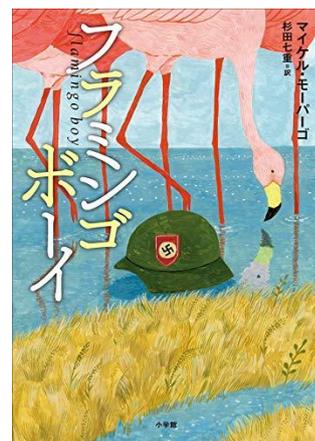
文春文庫）に「正座」があり、「正座そのものは古くからあるものの、それがいつから正式な作法となったかは諸説ある。（略）大河ドラマの侍は戦国時代までは胡坐（あぐら）、江戸時代に入ってからには正座としている。女性も江戸時代初期まで胡坐や立膝座りだったらしい。」となっています。時代を考えると戦国時代は床板で、畳が普及したのは江戸時代に入ってからです。床板の上で女性が長時間正座しているのは困難ですね。では、なぜこれまでの時代劇の中で武将の妻たちは正座をしていたのでしょうか？単純に考えると、高貴な女性は「おしとやか」で「清楚」だという世の男性たちの幻想が強かったからだと考えられます。中世ヨーロッパでも貴婦人は腰の辺りがくびれていて、世の男性の理想の体型で描かれています。しかし、実際は……。調べてみると面白いことがわかりますよ。



第66回青少年読書感想文全国コンクール 高等学校の部 課題図書 「フラミンゴボーイ」(マイケル・モーバーゴ)

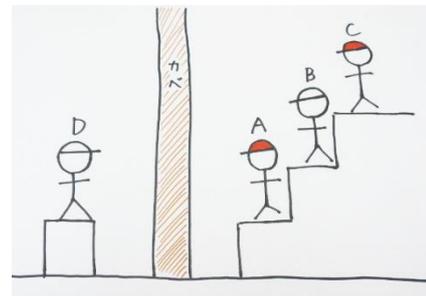
「戦火の馬 "War Horse"」の作者による最新長編です。

一人のイギリス青年が、一枚のゴッホの絵をきっかけに訪れた南仏カマルグで、原因不明の高熱におそわれ動けなくなる。辺りにはフラミンゴが无数飛んでいた。気を失った後、助けられた家で不思議な話を聞くことになる。第2次世界大戦の末期、南仏の田舎町カマルグにもナチスはやってきた。そこで何が起きたのか……。それは、フラミンゴと話ができる不思議な力を持つ少年とロマの少女の物語だった。歴史のひとこまを力強く描く感動の作品を是非読んで下さい。



図書館からの挑戦状だ！ 「自分の帽子の色が分かったのは誰？」

- 4人（ABCD）は死刑囚で赤または白の帽子を被らされています。
- 4人とも赤の帽子が二人、白の帽子が二人であることは聞かされていますが、自分の前にいる人の帽子しか見る事はできません。（キョロキョロすると即射殺されます。）
- 壁の向こう側にいるDさんは誰の帽子も見ることにはできません。
- 発言は答えのみ許されていてそれ以外の発言をした際にも射殺されてしまいます。
- 自分の帽子の色を言い当てた場合は全員解放されます。
- 少し時間がたって一人が手をあげました。さて自分の帽子の色が分かったのは誰？



「新聞切抜きコーナー」を有効に利用・活用しましょう！！

2019年5月号で設置を紹介した「新聞切抜きコーナー」です。昨年AOや推薦で大学に合格した人は年内に進路が決定しています。その人たちには大学から宿題が出るって知っていますか？ その宿題で一番多かったのが「新聞で気になった記事を要約して、記事に関する自分の意見を述べなさい。」というものでした。昨年度卒業した先輩たちは、良く図書館に「新聞ください。」って来てましたよ。今年は切羽詰まってから来るのではなくて、余裕をもって準備しましょう。1.2年生も今から新聞に親しんでおくことが必要です。



図書委員会では、「リサイクル活動」「本を届ける活動」を推進していきます！

今回は新図書委員長の「大塚萌未」さんです。新型コロナウイルス影響で休校が続きましたが、家にいる間にどんな本を読んでいたのでしょうか？ また今後はどんな図書活動を計画しているのでしょうか？

Q：休校中に読んだ本はありますか？

A：ライトノベルズですね。1週間に2冊ほど読みました。物語の世界に入り込みやすい異世界物が好きなんです。「西尾維新」の大ファンです。

Q：「図書委員会」では、どんな活動を予定していますか？

A：本の貸出数を増やしたいですね。それと昨年からやっている「リサイクル活動」を継続したいです。「本を届ける活動」にも参加したいですね。幼稚園や学童、病院などを訪問してみたいです。

Q：みなさんへの「オススメの1冊」を紹介して下さい。

A：西尾維新の「化物語（バケモノガタリ）」です。21世紀初頭で日本のとある田舎町の男子高校生・阿良々木暦は、街に現れた瀕死の女吸血鬼を助けたことがきっかけで、吸血鬼もどきの人間となってしまいます。女吸血鬼はその力を封じられたものの、「怪異の王」たる吸血鬼の出現はこの街の霊的エネルギーを乱し、様々な怪異の類が出没するようになり、暦はそうした怪異に憑かれた少女と出会います。彼女たちを助けるうちに人間的に成長していくという物語です。「西尾維新」はお薦めです。



夢と努力は、きっと「希望」の光になる！ だから諦めない！

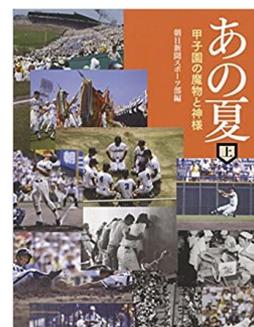
5/26(火) 7:15 配信「朝日新聞DIGITAL」より

2019年3月26日は、筑陽学園（福岡）の野球部にとって記念すべき一日となった。選抜大会初戦で福知山成美（京都）を3-2で破り、春夏通じて甲子園初勝利。そのスコアブックを記したのが、マネジャーの松本みなみさん（3年）だった。

（略）かなえた春の選抜、夏の選手権大会のベンチ入り。緊張で手を震わせながら、甲子園のベンチで書き込んだスコアブックは宝物だ。

新型コロナウイルスの影響による休校期間中、選手に贈るユニホーム型マスコットの制作を後輩マネジャーと始めた。表に「筑陽」、裏にはそれぞれの好きな文字を入れる。夏の大会の開催を願い、自分の分は背中に「希望」の二文字を縫い込むよう頼んだ。（略）

夏の大会を戦うことはない。もう、甲子園のベンチにも入れない。でも、マスコットに入れる言葉は「希望」のままでいいと思っている。「今の希望は、最後みんなで笑って終わること。だから、希望のままでいいです」（河野光汰）
（6/10「上毛スポーツ」）→



キリイチ野球部はセンバツに選ばれながら、新型コロナウイルスの影響で大会が中止になり、甲子園の土を踏むことが出来ませんでした。6月10日、日本高野連から甲子園で行われる交流試合への招待の知らせが届きました。選手たちは甲子園でプレーすることを願い、プレーできることを信じて日々練習に取り組んできました。その思いが届いたのです。球児の夢と努力は「希望」という光になったのです。何年経っても忘れない「あの夏」にして欲しい！